

# 理 事 会 議 事 録

日 時：2000年4月5日（水） 12時00分～13時00分

場 所：東京大学 山上会館 203号室

出席者：尾崎、家、小山、柴田、大石、立松、吉川、上野、  
有本、沢、大谷、山岡、橋本、牧島 出席者14名  
欠席者：紀伊（有効委任状提出あり）

他に千葉大学宮路茂樹氏が年会準備状況の報告のため出席した。

議事に先立ち、署名人を選出した  
議長：尾崎洋二  
署名人：柴田一成、大石雅寿

## 議事の経過及び結果

1. 前回（2000年1月22日）の理事会議事録が報告され、承認された。
2. 昨年11月に作成し天文月報に掲載した独立行政法人化に関する天文学研究連絡会議との共同声明を関係学協会、マスコミなど約200機関に送付したことが大石庶務理事より報告された。
3. 天文学会事務室が、本年7月ないしは8月に国立天文台テープ保管庫に移転することとなったことが大石庶務理事より報告された。
4. 2000年春季年会について吉川年会実行委員長から報告があった。年会登録者は814名、うちジュニアセッションと天文教育フォーラムのみの登録者は154名である。講演数は392であり、その内訳は口頭発表（15分）が202、口頭3分+ポスターが134、ポスターのみが56である。講演キャンセルは1件のみ、ポストデッドラインペーパーは2件であった。記者会見には5社の報道機関が参加、展示コーナーは4件あった。講演会場は6会場である。懇親会参加者は180名ほどであった。ジュニアセッションでは14の口頭発表（うち12件はポスターでも発表）と3つのポスター発表があり、参加者は250名ほどであった。参加者の発表はいずれもレベルの高い発表であり、各質問にも適切な応答を行っていた。今後ジュニアセッションを継続するかどうかは、セッション中に行なったアンケートの結果を踏まえて判断することとなった。
5. 新入正会員の名簿が大石庶務理事より示され、4名の入会が承認された。
6. 2000年秋季年会の準備状況について橋本理事より報告があった。開催期間は10月5-7日である。会場は6会場の確保ができており、8会場までは対応可能である。公開講演会は10月8日に行なう。ポスター会場の面積は約1000㎡ほどある。会員から要望が強いぐんま天文台へのエクスカージョンを計画している。続いて2001年春季年会の準備状況について千葉大学の宮路茂樹氏より報告があった。会期は2001年3月26-28日を予定し、公開講演会は3月25日となる。ポスター会場は総面積約800㎡分を確保する。会場のうち6会場には液晶プロジェクターがついている。これに関連して吉川年会実行委員長より、各セッションでレビュー講演を行なってはどうかとの提案があった。具体的な実施方法の検討に時間をかけ、早くて2001年年会より実施する方向が確認された。
7. 正会員（学生）として取り扱う際の資格確認方法について、現在の「自主申告」から「在学証明書もしくは学生証の提示」に変更してはどうかとの提案が大石庶務理事よりあった。意見交換の後基本方針は了承され、具体的方法を庶務理事より理事会全体に提示した後実施することとなった。
8. 98-99年度に渡って会費を納めていない会員19名が、4月4日に開催された評議員会の承認を経て除名となることが、大石庶務理事より報告された。
9. その他
  - （1）大石庶務理事より、天文学会のノード名をtenmon.or.jpからasj.or.jpに変更したいとの提案があった。変更にあたっては会員に十分に周知し、電子的な情報交換に不都合が起きないような経過措置をとることを確認し、変更は承認された。
  - （2）次回の理事会・評議員会の予定を以下のように決定した。  
理事会：2000年7月8日（土）  
評議員会：2000年7月15日（土）
  - （3）加藤万里子氏より要望があった研究機関における別姓の運用を求める文書内容について意見交換を行い、6月までに各研究機関に送付する文面を詰めることとした。
  - （4）会員数の1/4が会費を未納している事態を改善するため、会費前納（自動引き落とし）について意見交換を行った。
  - （5）ASTRO-Eの再打ち上げを要望する文書を早急に取りまとめ、各関係機関に協力をお願いする方針を確認した。

議長 尾崎洋二  
署名人 柴田一成  
署名人 大石雅寿